

関東支部会員サービス G ニュースレター

「特別講演会 地盤工学のための地形図読図」

平成 17 年 6 月 24 日の 18:00 から、標記の特別講演会を実施しました。特別講演会の講師は、中央大学副学長であり、同理工学部教授である鈴木隆介先生でした。この特別講演会は、関東支部長である石原先生が企画されたもので、鈴木先生に快諾していただいた経緯があります。鈴木先生は地形学の第一人者であり、地形の形成過程を精力的に研究され、その成果を背景に、自然災害予測論、地形工学的観点からの土地利用法および環境保全法の探求など



写真 特別講演会の様子

の研究にも取り組まれています。最近では『建設技術者のための地形読図入門』（全 4 巻）を出版され、地形図から地盤工学的にも重要な多くの情報を読み取る手法を詳述されています。この特別講演会では、参加者が 55 名と非常に多く、また鈴木先生の準備された講演資料の枚数や、普段何気なく見ていた地形図から多くの地盤情報を読み取ることができるということに参加者は驚かされたようでした。さらに、分かりやすい話し方が非常に印象的でした。また、鈴木先生のお計らいで、事前に地形図を参加者が準備し、その場で鈴木先生が地形図読図されるというイベントもあり大変興味深い講演会でした。特別講演会は 19:30 までの予定でしたが、鈴木先生のお計らいで 30 分程度延長していただき、参加者の質問にも遅くまで快くお答えしていただきました。最後になりましたが、特別講演会を実施していただきました鈴木先生に深く御礼を申し上げます。

「第1回ヤングセミナー（アフター5研究集会）：軟弱地盤上の盛土挙動解析の最新技術」
平成17年5月12日の18:00から19:30に標記のセミナーを実施しました。このセミナーは、若手地盤技術者に発表の場を与えたいという太田地盤工学会長の意向から実現したものです。講演者は、太田先生の推薦により、東京工業大学の竹山智英氏ならびに国土交通省の林雄介氏にお願いしました。お二人とも太田先生に師事された方々で、講演内容は実際の現場断面をFEMでモデル化し、地盤変形などの現場データとFEM解析結果との比較を行い、FEM解析の妥当性について検討するものでした。質疑応答にも的確にお答えされていたのが印象的でした。なお、このセミナーには、当日の夕方にイランから日本に帰国したばかりの太田先生にも出席していただき、現状のモデル化に対する問題点などお話ししていただきました。

0回目の今回は、東京工業大学の竹山智英氏ならびに国土交通省の林雄介氏を話題提供者としてお迎えし、下記のように開催いたします。お二人とも東京工業大学太田秀樹先生の研究室で、盛土の挙動解析を精力的に研究されてきました。当日は、九州での試験盛土の解析内容および北陸で実施された補強土高盛土での試験工事結果等について、ご経験に基づいた有益なお話を伺える予定です。また太田秀樹教授にも当日討議に参加いただける予定です。会員各位の様々な質問にもお答えいただけるものと思います。
職場の同僚の方もお誘いいただき、奮ってご参加いただければ幸いです。